

令和 5 年 8 月 3 日

守谷市議会議長 殿

委員長： 渡辺 秀一 印

報告者： 山本 広行 印

## 広報広聴委員会 小美玉市 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	令和 5 年 7 月 19 日 ( 水 )	
視察・研修場所	小美玉市役所	
視察・研修項目	小美玉市 子ども議会の取組	
参加者	守谷市側	渡辺委員長、首藤副委員長、小菅、海老原、田中、山本、高橋補佐
	相手側	篠根会長、荒川議長、藤枝部長、戸塚局長、他
視察・研修目的	小美玉市は、早くから子ども議会に取り組んでおり、健全な青少年育成の観点からその姿勢を学び、守谷市にも活かしていくため	
視察・研修内容	小美玉市 子ども議会の取組について座学での研修	
視察・研修総括 (今後の取組み等)	次世代を担う子どもたちが、市役所や議会活動の仕組みを知り、市政をより身近に感じ関心を高めると同時に、子どもたちからの意見・要望を聞き、子どもたちも参加するまちづくりを目指している。我が守谷市でも参考にして取り入れていきたい。	

## 視察・研修内容

小川村、美野里町、玉里村の合併によりその頭文字を取り、平成18年に誕生した小美玉市。その合併前の美野里町では平成10年12月25日に第一回子ども議会を開催。そこから合併後も定期的に開催し、昨年度で第15回を迎えた。青少年を育てる小美玉市民の会の篠根会長や小美玉市学校長会が主催者となり、隔年で小学6年生、中学2年生を対象として実施している。子どもたちが日々の生活や疑問を投げかけることで、家族や社会の一員であることを改めて気づき、地域とつながりを大切にする心を育て、参加する子どもたちの健全を目的としている。

しかし開催するに当たっては、年間スケジュールを作成し、執行部や各学校長、その参加する児童・生徒の担任らの負担は無視できないが、それ以上に保護者や教諭からの反応は良好であり、継続して開催できていることは、素晴らしい点だと思える。

開催の効果としては、質問を考えることにより、子どもたちに市政の取組に関心をもってもらえることや、市の施策に子どもの声を届けることができる、などである。

また課題としては、例年同じような質問となってしまういたり、質問された事業の結果がどのように反映されたかがわかりづらい点である。

私個人としては、第一回や初期頃の子ども議会に参加された方はすでに立派に成人している年齢であるため、参加した方々がどのような生活を送っているのか、また市政に対しての理解や関心などは如何ほどかを問いたかったが、そこまでの追跡は困難な為、不明であった。

しかし、子どもたちが中心となった議会の開催により、小美玉市が未来を託す子どもたちへ、全体として育成に注力しておられることは大いに受け取れました。

我が守谷市でも簡単にはいかないかもしれないが、次年度以降への開催に向けて歩を進めて参りたい。